

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	アジア太平洋大学交流機構拠出金		<b>担当部局庁</b>	高等教育局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度		<b>担当課室</b>	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 松尾 泰樹	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XⅢ-1 国際交流の推進			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	UMAP(University Mobility in Asia and the Pacific: アジア太平洋大学交流機構)は、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生等の交流促進を目的とし、単位互換を普及するための単位互換方式の開発・活用などを行っている。このUMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援することを目的としている。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	UMAPにおけるアジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生等の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解を深めるため、学生交流の阻害要因となっている単位互換問題を解決するための「UMAP単位互換方式(UCTS(UMAP Credit Transfer Scheme))」の開発の実施を行う。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	3	2	2	2	2
	執行額	3	2	2			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	UMAP(アジア太平洋大学交流機構)正会員国としての活動経費であるため、定量的な成果目標を示すことはできない。			成果実績			
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進(UMAP単位互換方式による単位互換認定実績)			活動実績 (当初見込み)	受入71 派遣10	受入110 派遣14	受入114 派遣21  (受入70派遣10)
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠	※UMAP正会員国としての活動経費(拠出金)であるため、単位当たりコストは算出できない。			
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	拠出金	2百万円	2百万円				
	計	2百万円	2百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・UMAP(アジア太平洋大学交流機構)が行うアジア太平洋地域の留学生交流の取組に参画・支援するため、正会員国として活動経費(拠出金)を支出することは不可欠である。なお、例年、受入で70名、派遣で10名程度の学生がUMAP単位互換方式による単位互換認定を受けている。</p> <p>・しかしながら、UMAPの活動が一層明らかになるよう、UMAP日本国内事務局との連携・協力を図ることが課題である。</p> <p>・経費の執行に関しては、事業年度毎にUMAP日本国内委員会事務局が作成する決算書の提出を求め、支出先・用途を把握し、拠出金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを行うアジア太平洋大学交流機構(UMAP)を支援する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行う。</p> <p>2. 所見：本事業は、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを行うアジア太平洋大学交流機構(UMAP)を支援し、「UMAP単位互換方式」の開発・活用に寄与する事業等に必要経費であり、UMAPの運営経費は、正会員国が負担しており、今後ともUMAPの活動を継続することが必要であることから、引き続き拠出金の用途等を検証しつつ、現行の予算規模を維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
2百万円

〔UMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援。〕



【拠出】

A. UMAP日本国内委員会  
2百万円

〔加盟各国との連携・協力の下、UMAP単位互換方式に基づく単位互換普及等により、地域内の学生交流を推進。〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. UMAP日本国内委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	国際理事会出席旅費	1.5			
雑費	UMAP運営経費	0.5			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UMAP日本国内委員会	地域内の学生交流を推進	2	-	-